

ろくのへ

議会だより

令和7年
5月2日発行

No.124



六戸町議会
ホームページ
QRコード

六戸学園入学式

令和七年度 六戸町立義務教育学校



4月8日 県内初の義務教育学校六戸学園の入学式。

この日は、新1年生と中学1年生にあたる新7年生が同時に入学式を迎え、学園生活がスタートしました。

【令和7年度予算】

一般会計77億1300万円・・・2

【予算特別委員会】

新年度予算の使い方は・・・4

【一般質問】

廃校後の利活用、人口減少対策、オンデマンド交通など・・・6

一般会計77億1300万円

当初予算、前年度より

42.95%の大幅減

令和7年度の当初予算の新規事業は、防災行政無線の更新、米沢地区への防火水槽の設置、がん治療をしている方への医療用補正具の購入助成などです。

令和7年度一般会計と特別会計、企業会計の予算総額は、119億9991万円で、前年度より32.8%の減です。うち、一般会計は77億1300万円。

主な要因は、六戸学園建設事業の減少、国民健康保険事業特別会計と介護保険事業特別会計での給付費の減少のためです。

その他、注目事業

- ▶交通安全対策事業
- ▶柳沢交差点の測量設計業務
- ▶六戸学園の外構工事
- ▶町立図書館建設工事
- ▶国民スポーツ大会実行委員会負担金
- ▶一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定業務

子ども医療費助成〈18歳まで対象拡充〉

2760万円



※写真はイメージです

企業立地奨励金
3500万円六戸学園生海外派遣事業
300万円

まちの声

高校生の医療費
無償化助かります山内寿幸さん
(上吉田)

子どもが高校生になってからはすぐに病院を受診するのではなく、市販薬に頼る感じでした。何かしらの疾患があった場合、早期受診は大事であり、無償化により早期発見のきっかけになると思います。

まちの声

通学路が暗く怖い

苫米地輝空さん
(六戸学園9年生)

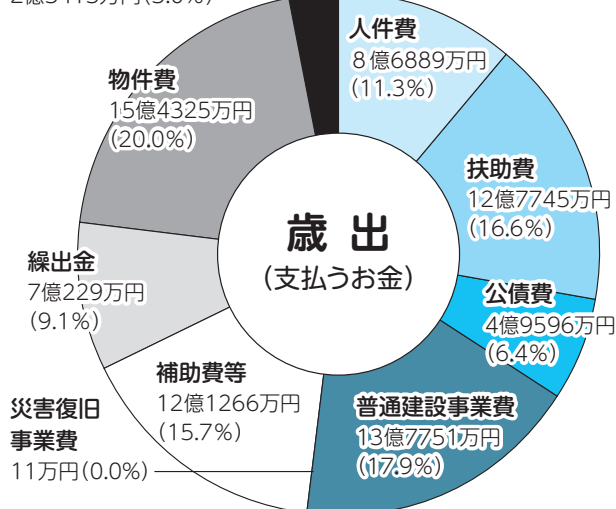
学園周辺は街路灯が少なく、夕暮れ時の帰宅は暗くて怖いです。

特に運動公園前の通りは暗すぎるので、街路灯の設置を早めをお願いしたいです。

一般会計 77億1300万円の内訳

その他(維持補修・積立金・貸付金・投資・予備費)

2億3413万円(3.0%)



譲与税・交付金

3億7838万円

(4.9%)

町債(借入金)

9億2910万円

(37.2%)

県支出金

8億555万円

(10.4%)

国庫支出金

11億8021万円

(15.3%)

町税

14億139万円

(18.2%)

繰入金

8億1365万円

(10.5%)

分担金及び負担金

294万円

(0.0%)

使用料及び手数料

3965万円

(0.5%)

諸収入

3808万円

(0.5%)

財産収入、寄付金、繰越金

7402万円

(1.0%)

地方交付税

20億5000万円

(26.6%)

災害復旧事業費

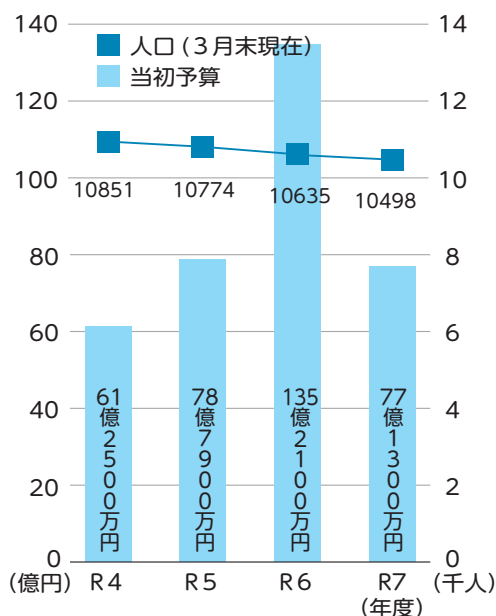
11万円

(0.0%)

財政用語の解説



一般会計当初予算と人口の推移



令和7年度 各会計の当初予算額

会計名		当初予算額	前年度比	
一般会計		77億1300万円	△58億800万円	△42.95%
特別会計	国健康保険	12億3289万円	△5219万円	△4.06%
	介護保険	14億2910万円	△1680万円	△1.16%
	後期高齢者療	1億6357万円	△372万円	△2.22%
	国民健康保険診療所	3億7133万円	44万円	0.11%
企業会計	下水道事業	10億9001万円	1972万円	1.84%
合計		119億9991万円	△58億6054万円	△32.81%

※企業会計の表記額は、収益的支出と資本的支出の合計額。金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されていて、どなたでも傍聴できます。町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？

次回は6月に開催されます。

図 議会事務局 ☎55-4547



令和7年度 新年度 予算の使い方は！？



3月定例会の一般会計、特別会計、企業会計の予算を審査する予算特別委員会(山本実委員長)が、3月4日、5日に開かれ、審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑を要約してお知らせいたします。

繰入金の見通し

盛田嘉彦委員

Q 令和7年度は6億2500万円程度の資金不足に対し、財政調整基金等から繰入を行っている。このまま推移すれば将来的に予算が不足するのでは。

副町長

A 基金は令和6、7年度に基金の戻し入れがあるため、最終決算額では大きく減らずに推移すると思います。危機的な状況には陥らないよう取り組んでいきます。

ふるさと納税

下田敏美委員

Q ふるさと納税の専属チームをつくり、もっと積極的に活動しては。

町長

A 様々な方法を検討し、積極的にふるさと納税を進めていきたいと思っています。

■令和6年度ふるさと納税寄附受領額 3976万円

固定資産税

盛田嘉彦委員

Q 固定資産税の土地の状況については。

税務課長

A 固定資産税は、新築家屋が増加していますが、償却資産の経年減価の影響が大きく、全体では減額となります。土地については、太陽光発電施設の建設により山林等が地目変更により雑種地宅地比準となるため微増する見込みです。

診療所

長根一男委員

Q 特殊勤務手当の内容は。

診療所事務長

A 勤務の特殊性に応じて支給されている手当で、診療所の医師へは給与のほかに、所長は月額75万円、副所長は55万円が特殊勤務手当として支払われています。



まちづくり町民活動支援事業

川村重光委員

Q 活動団体と、今後の活動内容は。

まちづくり推進課長

A 昨年度は6 door'sによるペンキアート事業や、今熊の里社による今熊神社の参道整備事業、NPO法人ろくのへ自然塾によるさつき沼ジオトープ事業、小松ヶ丘コミュニティ活性化実行委員会によるコミュニティ活性化事業、商工会青年部によるPR動画作成事業に使用されました。

令和7年度では、新たに町特産品を使った商品開発のコーディネート事業が予定されています。

がん患者医療用補正具購入助成

苫米地繁雄委員

Q がん患者医療用補正具購入助成の内容は。

福祉課長

A がん患者の医療用補正具(ウィッグや乳房補正具)の購入費用について補助するものです。1人当たりの上限額3万円として、補正具の2分の1の助成としています。

企業立地奨励金

高坂茂委員

Q 企業立地奨励金の対象の企業は。

まちづくり推進課長

A 令和7年度に金矢工業団地で操業するカーボン繊維のリサイクルを取り扱う工場です。

なかよし会

久田伸一委員

Q 将来的に、なかよし会を六戸学園の近くに建設しては。

町長

A 既存の建物の老朽化等もあるため、建て替えが必要な時期に検討していきたいと思っています。

六戸学園の建設費—償還計画—

杉山茂夫委員

Q 六戸学園の今後の公債費の償還計画は。

企画財政課長

A 元金は令和7年から3年は据置きで、令和10年から22年の償還になります。令和10年から元金の償還が始まり、2億6000万円程度の一般財源が必要になります。

町立図書館

長根一男委員

Q 新町立図書館と六戸学園の校舎は、学園の生徒・児童も利用できるようなつながつているが、防犯対策は。

教育課長

A 学校とつながる部分は鍵をかけ、防犯カメラも設置し、防犯対策を整えています。

観光事業

盛田嘉彦委員

Q 観光協会の新規事業は。

まちづくり推進課長

A 4月にフォトロゲイニングというイベントを実施予定です。町内の名所、旧跡、飲食店、商店をチェックポイントに設定し、写真を撮りながら巡り歩きポイントを争う競技です。町をPRする良いイベントになると期待しています。

六戸学園の経費

松橋一男委員

Q 小中学校5校が1校になることで、経費面でのメリットは。

教育課長

A 光熱費等は大幅な増加はしない見込みです。ただし、校舎が木造のため、火災保険はこれまでの校舎と比べ高くなる見込みです。

海外派遣事業

下田敏美委員

Q 六戸学園生海外派遣事業の内容は。

教育課長

A 8月に米国メイン州キタリー町の生徒を受入し、六戸学園の生徒たちと交流事業を行います。

役場庁舎空調設備、 役場庁舎LED化

高坂茂委員

Q 役場庁舎空調設備増設事業、役場庁舎照明器具LED化事業の内容は。

総務課長

A 役場庁舎空調設備増設は二階の事務フロア、別館の一階と二階、三階第一会議室と第二会議室、議会事務局、監査委員室へ新たにエアコンを設置します。役場庁舎LED化は、蛍光灯の生産が令和9年9月末で終了するため、照明を全てLEDにします。

部活動への報酬

高坂茂委員

Q 令和7年度から地域移行する、ゴルフ、サッカー、バスケの3種目の指導者報酬費、また部活動補助金とは。

教育課長

A 指導者報酬費は、1人1時間1600円で月50時間程度の年間報酬費です。

部活動補助金は、部活動の運営費として1団体、年間固定費3万円に部員1人当たり3千円を支払います。

■部活動への報酬

部活動指導者報酬	288万円
部活動補助金	270万円

老人クラブの名称

高坂茂委員

Q 老人クラブの名称をシニアクラブへ変更しては。

町長

A 変更可能なところは、検討し変えていきたいと思っています。

町民バスの運行

長根一男委員

Q 町民バスの運行業務費が大幅に増えているが。

総務課長

A 町民バスは減便していますが、今年度よりスクールバス運行分と町民バス運行分が計上されています

また、民間業者に委託しているスクールバス2台分は教育費で予算化しています。

■町民バス運行事業経費 1億4164万円



すぎやま しげお 議員
杉山 茂夫

小中5校廃校後の利活用は

公有財産取得処分等検討員会で検討 — 町長

問 旧小中5校の校舎の今後の予定と土地利用は。

町長 令和4年4月に策定した六戸町立小・中学校最適化基本計画によると、六戸小学校と六戸中学校は老朽化が著しく、将来校舎を解体する方向で考えていますが、解体に係る費用の財源確保の問題や、国補助金と地方債借入で整備した校舎のため、解体に制約がないか事前調査を行った上で、具体的な時期を検討していきます。

また解体後の土地利用は、未利用財産として維持管理経費が継続するため、公有財産取得処分等検討員会で有効活用の方法を検討し

問 廃校後の施設の利活用は。

町長 公有財産取得処分等検討員会で、有効活用方法を検討しますが、旧校舎に使用中の備品などが一定期間残るため、利活用には時間を要すると考えています。

問 廃校後の管理の担当課は。

企画財政課長 旧小中学校の管理は、令和7年度は、教育委員会で管理します。

問 廃校決定時に利活用を計画すべきでは。

企画財政課長 何度か検討委員会を開催し、利活用について話し合いがされましたが、具体的

旧小中5校の利活用はどうか



な中身については、検討されておりません。

令和7年度中に、その方向性を示したいと考えています。

問 廃校施設の備品の取り扱いは。

教育課長 机や椅子、テレビなど六戸学園で使わない備品は旧校舎に残す予定です。

町長 町有財産としてルールを定め、町民の方々への提供など、検討していきたいと思っています。

現図書館の利活用は

ニーズ把握をしてから検討 — 町長

問 絵本や簡易用具、遊具のある子育て支援センターを創設し、子育て世帯の交流と居場所づくりをする考えは。また自販機カフェと談話スペースの町民サロンとして、町民同士の交流と生徒の自習スペース、家庭や職場以外のサード・プレイスの考えは。

町長 現図書館の活用については、様々な事業への利用や行政組織体制の見直しによる庁舎機能への利用など、有効に活用できるよう、今後検討していきます。

※ サード・プレイス
自宅や職場とは隔離された、第3の居場所

子育て支援センター、町民サロン、サード・プレイスなどへの活用については、まずはニーズの把握に努め、

検討していきたいと考えています。

問 高齢者に地域包括支援センターがあるように、子育て世代のための施設や町民の交流と若者の居場所づくりが必要では。

町長 私の政策で次代の子供を育てる六戸町と謳っていますが、将来的に子ども課等も必要だと考えています。

拠点としては、現図書館は役場とも近く、ゾーンの充実するので、カフェスペースがいいのか、子育てゾーンがいいのか廃校施設も含め、子供たちの居場所、町民たちが集う場所づくりも必要だと思います。総合的に町内の施設を活用することを検討していきたいと思っています。



こうさか しげる
高坂 茂 議員

当町の人口減少対策は

町民と対話を含め取り組む — 町長

問 当町の10年後から20年後の人口予想は。

町長 六戸町人口ビジョン・六戸町総合戦略によれば、10年後の2035年の人口予想は、9238人、2045年には、8336人。令和7年1月末の住基人口の10532人と比較すると、10年後に約1千人、20年後には約2千人が減少する推測値となっています。

問 人口減少対策の一環として、特区（税制優遇等）を設ける考えは。

町長 特区制度は、地域や分野を限定し、国の規制を緩和するなどの特例措置を創設したり、既存の特例措置を活用できるよ

問 六戸町は、「いい部屋ネット街の幸福度＆住み続けたい街ランキング2024」で街の幸福度ランキングで青森県内第一位となった、その要因は。

うにすることで、実施困難な事業や、施策の実現を図る制度です。今現在、当町で特区を設ける考えはありません。

町長 近年、町内会への加入数の減少に歯止めがきかない状況です。対策として、各町内会の代表者を集めたセミナーの開催や、モデル地区への活性化支援、地域のリーダーとなる人材の育成など、活性化事業を実施しています。

町民の皆様方と対話を含めながら、取り組んでいきたいと思っています。

町長 地域コミュニティの維持と対応は。

加入数の減少に歯止めがきかない状況です。対策として、各町内会の代表者を集めたセミナーの開催や、モデル地区への活性化支援、地域のリーダーとなる人材の育成など、活性化事業を実施しています。

町長 災害が少なく、温暖な気候であること、三沢、十和田、八戸の3市に囲まれ、生活しやすい地域であること。そして駅、空港に近く、生活に必要なものが30分圏内で、全て揃うということ。これらの状況から、住みやすい土地と評価をされたと思います。



人口減少は今後さらに加速する見込

六戸学園の未来予想図は

六戸の未来を創る人材の育成 — 町長

問 県内で初の義務教育学校として、特色ある学園を目指すための指針は。

町長 学校、保護者、地域の方々と手を取り合い、児童生徒が自らの夢や希望、志の実現に向けて挑戦する環境づくりを進めます。そして、県内初の義務教育学校として、その名にふさわしいトップランナーとなるよう努めます。

問 部活動のスムーズな地域移行の考え方は。

町長 スポーツ、文化活動に励んだ子供たちが、町のスポーツ・文化活動に関わり、それぞれの活動が活性化するシステムづくりが必要だと考えています。早期に地域移行が実現できそうなもの、そうではないものがありますが、将

来的には多くの活動が好循環となるシステムを構築したいと考えています。

問 町が主導し、指導者を育成する考えは。

町長 スポーツ指導者は、資格を持った形で指導しなければならぬという要綱も出てきています。人選に加え、教育の意味でも、指導者の育成には、支援をしていかなければならないと考えています。



特色ある教育活動を目指して

オンデマンド交通を実施しては

ニーズを把握し検討 — 町長



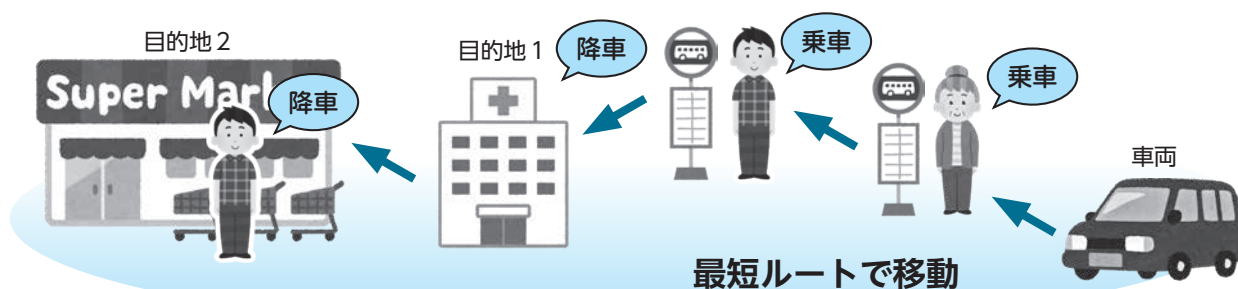
やまもと みのる
山本 実 議員

問 六戸学園のスクールバスに使用するため、町民バスの便数が減便される。地域の交通格差を減らし、町民の誰もが快適かつ効率的に移動できる環境を町が提供するため、オンデマンド交通サービスを実施しては。

町長 当町の町民バスは、利用者数の減少や維持費の増大など見直しの時期にきており、デマンド型交通も含め地域公共交通のあり方については、どのような交通手段が適当なのかニーズの把握に努め、検討していきたいと考えています。

オンデマンド交通サービスイメージ

利用者からの予約を受けて運行する、乗合交通手段です。



「オンデマンド交通サービス」とは予約型の乗り合い交通手段です。

予約の内容に応じて運行時間やルートが決定するため、利用の方の希望に近い条件で乗車することができます。事前に予約し、予約のあった停留所から目的地まで送迎してくれます。

傍聴席からひとこと

今後もアプリで通知できるようにいたします。
貴重なご意見ありがとうございます。

定例会のお知らせが良かった
アプリで定例会のお知らせがされて分かりやすく、良い活用だと思いました。町内小中5校の活用方法、町長の説明が良いと思いました。
(女性 60代)

いただいた意見は議員全員で回覧いたしました。真摯に受け止めます。
貴重なご意見ありがとうございます。

一般質問について
一般質問者の二名が欠席。残念。
(男性 70代)
一般質問が単調で退屈。もっとまとめて短時間で質問して欲しい。
(性別 年代不明)
返答が一般的な返答になっていると感じた。
(男性 60代)

審議した議案の 賛 否

第 1 回定例会(開会 令和 7 年 2 月 28 日)

議 案 名		採決賛否	審査結果	採決日
専 決 処 分	令和 6 年度一般会計補正予算(第 7 号)(1 億1265万円を増額補正)		承認	
条 例	刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(刑法等の一部を改正する法律及び、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律の施行に伴う、所要の改正)			
	六戸町課設置条例の一部を改正する条例(令和 7 年 4 月 1 日より新たに介護高齢課を設置するため改正)			
	六戸町議会委員会条例の一部を改正する条例(介護高齢課の設置に伴う関係条例の一部改正)			
	六戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴う改正)			
	六戸町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例(デジタル手続法が適用されない条例等に基づく手続等において、デジタルによる手続を行うことができるよう整備するもの)			
	六戸町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例(青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に準拠し、職員の給料月額や扶養手当、通勤手当、管理職員特別勤務手当の額等を改定し、定年前再任用短時間勤務職員に住居手当、寒冷地手当を支給する他、所要の整備)			
	六戸町立図書館設置条例の一部を改正する条例(令和 7 年 6 月 1 日開設の六戸町立図書館の開館に伴い、住所を変更するほか所要の改正)			
令和 6 年度補正予算	一般会計補正予算(第 8 号)(7 億1069万円を減額補正)	全員賛成	可決	3月6日
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第 4 号)(49万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第 3 号)(23万円を増額補正)			
	下水道事業会計補正予算(第 3 号)(資本的収入 1 千万円増額補正、資本的支出1180万円を増額補正)			
令和 7 年度予算	一般会計予算(77億1300万円。前年度より58億800万円減)			
	国民健康保険事業特別会計予算(12億3289万円。前年度より5219万円減)			
	介護保険事業特別会計予算(14億2910万円。前年度より1680万円減)			
	後期高齢者医療特別会計予算(1 億6357万円。前年度より372万円減)			
	国民健康保険診療所事業特別会計予算(3 億7133万円。前年度より44万円増)			
	下水道事業会計予算(収益的支出と資本的支出の合計額10億9001万円。前年度より1972万円増)			
人 事	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(佐藤徳衛氏=舘野、新任)		適任	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(岡田利子氏=高舘、新任)			
議員発議	六戸町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案(特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に対応するとともに、所定の規定の整備)		可決	

3月

定例会で決まったこと



完成した義務教育学校 六戸学園、隣には町立図書館が併設されている

専決予算

◇一般会計1億1265万円を増額

令和6年度一般会計予算では、歳入・歳出に1億1265万円を増額補正し、総額142億6542万円となりました。主な補正内容は次のとおりです。

- ▽プレミアム商品券発行支援事業補助金 2320万円
- ▽福祉灯油購入費助成金（障害者等で住民税所得割の非課税世帯に7千円を支給） 241万円
- ▽低所得者世帯等支援臨時給付金（非課税世帯に3万円等を支給） 4468万円

質疑

プレミアム商品券

図 杉山茂夫議員

プレミアム商品券発行支援事業の内容は。

図 まちづくり推進課長

今回の販売日は4月20日、1セットの価格は5千円、プレミアム額を2500円としています。

1世帯4セット（2万円分）まで購入することができます。



補正予算

◇一般会計7億1069万円を減額

令和6年度一般会計予算では、歳入・歳出から7億1069万円を減額補正し、総額135億5472万円となりました。

事業費等の確定や見込額の精査したことによる減額が主なものです。

条例改正

◇課設置条例の一部を改正

「介護高齢課」を新設
これまで福祉課内で行って

いた介護保険業務、地域包括支援業務、高齢者福祉業務を所管事務とした、介護高齢課を令和7年4月1日より新設します。

高齢者支援対策を強化し、介護サービスへの効果的な対応や高齢者福祉の充実を図ります。

▽介護高齢課

・住所

六戸町大字大落瀬字

後田19番地1

・電話

0176-27-6688



地域包括支援センター内に設置された介護高齢課

◇六戸町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

例 デジタル手続法が適用されない条例等に基づく手続等に

において、デジタルによる手続を行うことができるよう新たに制定します。

行政手続がオンラインでも行えるようになり、市民の利便性の向上や行政運営の簡素化、効率化を図ることができます。

質疑

図 高坂茂議員

オンラインの対象となる行政手続は。

図 総務課長

児童手当や介護保険関係の届出や申請、各種イベントの参加申込み、犬の登録申請などです。今後環境が整えば、パソコンやスマホから、住民がいつでも申請できるようになります。

◇六戸町立図書館設置条例の一部を改正

令和7年6月1日の六戸町立図書館開館に伴い、位置と現行図書館法に合わせた内容に改正します。

▽図書館住所

六戸町大字大落瀬字
坪毛沢25番地163

産業民生常任委員会

令和7年1月24日、所管事務調査の一環として、まちづくり推進課所管8事業について聞き取りを行いました。

1. 定住促進事業は、新築住宅への補助事業と若者へのアパート補助があります。令和元年度から6年度まで150世帯、412名の人口増につながっています。
2. 創業支援事業は、まちの機能を衰退させないために、町内で商業事業者が創業できるような後押しが必要ということで始めた事業です。令和6年4月から事業を始め、令和6年7月に第1号となるラーメン店が折茂地区で営業を始めています。現在、小松ヶ丘地区に第2号採択となった薬局が創業を予定しています。
3. ふるさと納税事業は、令和6年12月末で3736万円の寄附となっていて、寄附総額は好調を維持しています。主な返礼品は星野リゾート青森屋の宿泊ギフト券で約7割を占めています。

課題としては、返礼品の商品が少ないことや、出荷対応できる農家が少ないことがあげられます。

4. まちづくり町民活動支援事業は、町民の活力と交流につなげる自律的な取り組みに対して、上限50万円(対象経費の4/5)の補助を行うものです。
5. 企業立地促進事業は、金矢工業団地の分譲を県と共同で行い、まちづくり推進課の職員も一緒に売り込みを行っています。
6. 地域(町内会)活性化事業は、町内会への加入減少や、役員のなり手不足など、いまだに解決策が見つからない状況に対し、地域コミュニティの維持をテーマにしたセミナーや地域の活性化を支援しています。
7. 各種イベント事業では、7月にサマーフェスタ、9月は秋まつり、11月はメイプルタウンフェスタと大きな事業を3つ行っています。
8. 六戸ブランド推進事業は、町内外の方々に六戸町を知ってもらう事業で、特産品のPRと販路拡大、特産品の開発支援を行っています。

委員の中からは、館野公園や道の駅の有効活動、ふるさと納税の返礼品の開発などに取り組むよう意見がありました。
(委員長 長根一男)

2/7

三戸町議会 視察研修

六戸町議会は、2014年に町民参加・開かれた議会・活発な討議を目標に議会基本条例を制定して以来、議会報告会や町民との意見交換会を開催してきました。



三戸町議会の皆さんと

しかし、2019年の新型コロナウイルスで頓挫、2022年に六戸高校生模擬議会を開催できましたが、より活発な議会改革を推進するため三戸町議会を視察研修しました。

三戸町議会は、数年前に当町の議会改革の取り組みを視察研修に来た議会ですが、最近では議会活動実行計画の策定と議員間討議や議会基本条例の検証等、より活発に議会改革を推し進めています。

当議会も今定例会の予算審議において、より積極的な論点で議員間討議を行い、令和7年度予算の深堀を試みた次第です。今後も一步一步、進化する議会でありたいと思います。
(杉山茂夫)

3月は卒業シーズンです。私も昭和50年3月1日に三沢高校を卒業して、就農し、仲間に進学・就職と別々の道を歩みました。

卒業から50年が経ち、当時の学級委員長に同級会をやるよと声を掛けて、久しぶりの同級会を開くことができました。連絡のつく人だけで開いたため、12名の参加でしたが、50年ぶりの再会が2名おり、二次会ではカラオケを楽しみ、夜遅くまで近況を報告し合いました。また、2名の方が亡くなったことも聞き、私達も年を取ったなと感じました。それでも、同級生に会うと、いくつになっても高校時代に帰った気がすると、みんな喜び合いました。

来年も健康に気を付けて、元気に古稀の祝いを同級会でやろうと別れました。

広報委員 長根一男

50年ぶりの再会





今回は六戸学園初代
PTA会長となった
山内一哉さんです。

山内 一哉さん

プロフィール……六戸小・中学校卒業。大学卒業後、六戸町役場で21年間行政職員として従事、産業課に在職中、農業者がいきいきと働いているのを見て、こういった働き方があると刺激を受けたことがきっかけで、自分もいつかは農業をしたいと思った。当時は安定した職を辞めることに家族から反対を受けたが、家族の理解が得られたため令和4年に役場を退職。現在は自営で農業を営む。
昭和53年生まれ46歳。上吉田地区在住。両親、妻、子3人の7人暮らし。趣味は釣り、ドラマ鑑賞。



時代に合ったPTA

六戸学園を開校するにあたり、開校準備委員会が立ち上げられました。その委員に町内小・中学校のPTA会長が入り、学校の仕組みや決まり事を決めていきました。

その中で、今後のPTAの仕組みについても話し合いがされました。

本来、PTAは任意団体であり、その入退会も会員が決めるべきものとなっています。

しかしながら、今までの小・中学校では、自分の子どもが入学するのと同時にPTAへ保護者全員が加入することを前提とした運営がされていました。

そのため、開校準備委員会では、時代に合わせた組織運営ができるよう任意加入にすることに決め、学園が開校する前の、新2・8年生の保護者からPTA加入の意向確認を行いました。

初代PTA会長として

PTA加入の意向確認を行った結果、加入率は6割程度となりました。

今の保護者がPTAに対しての関心が低いことの表れだと感じました。

開校準備委員会で話し合いを重ねる中で、初代PTA会長は各学校の中から立候補者を募り、投票で選出することにしました。

私はPTA組織の代表ですが、会員ではない保護者の意見も学園へ伝え活動するつもりです。

ゆくゆくはPTAという枠組みも見直し、保護者全員が子どもたちを支

える学園の応援団のような組織を目指したいと考えています。

六戸学園について

普通の義務教育だけではなく、子ども自身で考

える力を伸ばせる場所、子ども達が地元六戸町に誇りを持ち、町外に行つたときに六戸町について自信を持って発言できるような郷土愛を育める場所になってもらいたいです。

そのために、地域の人々と連携した学習の場などの取り組みも行つて欲しいと思います。

（聞き手 杉山 茂夫
盛田 嘉彦）



六戸学園入学式であいさつをする
山内PTA会長

編集後記

六戸学園開校
たくさんの方々のお力と御協力の元、六戸学園が開校しました。

六戸町の大切な人材、希望と夢、誇りを持って新校舎へ足を運ぶ子どもたち。

学校が楽しい!! たくさんのお友だちができた!!
この学校でよかった!!
そう思える居場所になることを祈りながら校舎を見つめております。

広報委員 松村英子



議会広報委員会

委員長	松橋 一男
副委員長	松村 英子
委員	盛田 嘉彦
	長根 一夫
	杉山 茂夫
	高坂 茂
発行責任者	下田 敏美